

事業 075	事務事業名	3か月児健康診査 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象 (誰を・何を)	生後3~4か月児						
	意図 (どのような状態に)	乳児の異常を早期に発見して適切な処置をとると共に保護者の育児について正しい理解を深め、健康の保持増進に努める。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	集団検診(射水市民病院、小杉保健センター、大門保健センター) 月3会場 延36回 問診・身体計測・小児科診察・整形外科診察、股関節超音波検査・保健相談・母乳相談・集団指導						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	健康診査受診率	%	99	100	99.1	99.1	100	100	
	健診未受診者把握状況	%	100	100	85.7	85.7	100	100	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	子育てアンケートで「子育てに自信がない」減少	%	20.2	10	18.9	189.0	10
	子育てアンケートで「子育てが楽しい」増加	%	98.7	100	98.8	98.8	100

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	5,239 千円	3,731 千円	28.8	3,678 千円
財源内訳	人件費	4,071 千円	4,012 千円	1.4	4,012 千円	
	退職手当引当金相当額	590 千円	590 千円	0.0	590 千円	
	事業コスト計	9,900 千円	8,333 千円	15.8	8,280 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	9,900 千円	8,333 千円	15.8	8,280 千円	
当該事務従事職員数		0.59 人	0.59 人	0.0	0.59 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	乳児の異常の早期発見や早期対応をするために必要であり、当初の目的は達成されている。
有効性	4	健診受診率が高く、未受診理由の把握もできている。
達成度	3	健診受診率が高く、未受診理由の把握もできており、育児不安の軽減に繋がっている。
効率性	4	最低の従事人数で実施し、コスト削減に努めている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	この健診は乳児の異常を早期発見し適切な処置をすることが大切であり、より一層質の高いサービスの提供に努める

事業 076	事務事業名	1歳6か月児健康診査 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象 (誰を・何を)	1歳6ヶ月児							
	意図 (どのような状態に)	健康診査において、身体発育はもとより、行動発達、聴覚、軽度の心身障害や神経学的異常の早期発見、早期支援に努める。離乳食から幼児食への移行、むし歯の予防、事故防止にも重点を置いて実施している。							
事業内容	手段 (どのような方法で)	集団健診(新湊保健センター・小杉保健センター・大門保健センター) 月3回会場 延36回 問診、身体計測 小児科診察、歯科診察、歯科相談、心理相談 保健相談、栄養相談							

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	健康診査受診率	%	98.7	99	99.1	100.1	99.2	100	
	健康診査未受診者把握状況	%	100	100%	86.00%	86.0	100	100	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	身体面、精神面の要精密検査、要観察児の事後フォロー人数	人	185	200	219	109.5	200

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	2,697 千円	2,099 千円	22.2	2,809 千円
財源内訳	人件費	4,071 千円	4,012 千円	1.4	4,012 千円	
	退職手当引当金相当額	590 千円	590 千円	0.0	590 千円	
	事業コスト計	7,358 千円	6,701 千円	8.9	7,411 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	7,358 千円	6,701 千円	8.9	7,411 千円	
当該事務従事職員数		0.59 人	0.59 人	0.0	0.59 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	運動機能、言動、社会性、生活習慣の自立の発達を助長し、阻害因子を除くことが目的であり、早期発見、早期支援をすすめるうえでも必要である。
有効性	4	医療以外の保健、福祉等の専門職にスムーズに連携できる体制づくりに努め、継続的に実施している。
達成度	3	健診受診率も高く、精密検査受診状況や事後フォロー体制が他の母子保健事業と連動し効果を上げている。
効率性	4	対象数にあわせて、歯科医師、保健師、看護師、臨床心理士、歯科衛生士の確保に努め、効率化を図っている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	この健診は単独で独立したものでなく、乳幼児の発達段階で継続した流れの中で捉えるものであり継続して実施する。

事業 077	事務事業名	3歳6か月児健康診査 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象 (誰を・何を)	3歳6か月児						
	意図 (どのような状態に)	3歳児は人格が形成される大切な時期であり、早急に対応が必要な障害等が発見されやすく、早期に養育へつなげる。又、虐待の恐れのある親子や育児不安のある母親を早期に発見し対応していく。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	集団検診(新湊保健センター、小杉保健センター、大門保健センター) 月3回会場 延36回 問診、身体計測、尿検査、小児科診察、歯科診察、視力聴力検査 歯みがき指導、心理相談、保健相談、栄養相談						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	健診受診率	%	97.7	100	97.7	97.7	98	100	
	健診未受診者未把握状況	人	20	35	35	100.0	20	20	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	身体面、精神面での精検受診と事後指導フォローされている	人	208	200	180	90.0	200

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	3,099 千円	2,489 千円	19.7	3,165 千円
	人件費	4,071 千円	4,012 千円	1.4	4,012 千円	
	退職手当引当金相当額	590 千円	590 千円	0.0	590 千円	
	事業コスト計	7,760 千円	7,091 千円	8.6	7,767 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	7,760 千円	7,091 千円	8.6	7,767 千円	
	当該事務従事職員数	0.59 人	0.59 人	0.0	0.59 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	医師会、歯科医師会の協力も一般診査を実施し必要な児には精密検査を実施している。就学まで関係機関と連携できる体制をとり、早期支援、早期療育に繋がっており重要な健診である。
有効性	4	健診の結果、身体面、精神面での障害の恐れのある児童について、精密検査を実施し障害の早期発見、早期支援、早期療育に努め、体制の確立を図っている。
達成度	3	発見された異常者に対しては、適切な治療と指導を行い、就学まで医療機関、厚生センター療育施設、保育園、幼稚園の協力して実施している。
効率性	4	対象数に合わせた、スタッフの配置を実施し、効率化を図っている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	子どもを取り巻く環境の変化や保育者の多様化したニーズに対応できるよう健診体制の整備に努めて行く。

事業No.	事務事業名	妊婦一般健康診査・精密検査・乳児一般健康診査 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
078							課名	健康推進課	
							電話	82-1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法第13条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象(誰を・何を)	妊産婦・乳児						
	意図(どのような状態に)	妊産婦や乳児の健康状態を把握し、流産、妊娠中毒症や母子の障害の発生を予防すること。						
事業内容	手段(どのような方法で)	医療機関に委託して妊婦一般健康診査(15回)、妊婦精密健康診査(随時)、乳児健康診査(2回)を実施する。安全な分娩をするため、妊婦の健康管理と異常の早期発見のため実施している。また、35歳等以上の妊婦に超音波検査を実施する。乳児で精密検査の必要なときは精密検査を実施している。						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
①	妊婦一般健康診査の平均受診率	%	93.9	70	79.1	113.0	80	80	
②	乳児一般健康診査の平均受診率	%	71.6	72	74.7	103.8	75	80	
③									

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
①	妊娠11週以下での妊娠届出率	%	48.5	60	79.2	132.0	80
②							
③							

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	39,548 千円	67,543 千円	70.8	80,229 千円
	人件費	1,035 千円	1,020 千円	▲ 1.4	1,020 千円	
	退職手当引当金相当額	150 千円	150 千円	0.0	150 千円	
	事業コスト計	40,733 千円	68,713 千円	68.7	81,399 千円	
財源内訳	国県支出金	5,752 千円	18,793 千円	226.7	28,316 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	34,981 千円	49,920 千円	42.7	53,083 千円	
	当該事務従事職員数	0.15 人	0.15 人	0.0	0.15 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	妊娠出産に関する安全性を確保しつつ、妊娠期間中の種々の苦痛や不安感の解消・軽減するための社会的な支援が求められている。
有効性	4	妊娠期間中に健康診査を実施することで、より安心な出産ができる環境づくりに大いに貢献している
達成度	4	妊婦健診や乳児検診にかかる経済的負担の軽減を図り、健康診査を受診できる機会を確保している。
効率性	4	経済的負担の軽減を図り、妊婦や乳児が健康診査を受診できる機会を確保することは、公共関与として妥当である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	健診の受診率向上に努めるとともに、健診後のフォローの充実を図る。

事業No.	補助金の名称	妊婦健診県外里帰り助成				担当部署	部名	福祉保健部	
079							課名	健康推進課	
							電話	82-1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
補助期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度								
根拠法令・要綱等	母子保健法第13条								

事業目的	対象(交付先)	市内在住の妊婦で、県外の医療機関・助産所で妊婦健康診査を受診する方						
	意図(補助目的)	妊婦の健康の保持増進並びに異常の早期発見及び早期治療を図るため、県外に医療機関や助産院で、妊婦健診を実施した人に対して、その費用一部を負担し経済的支援を行う。						
事業内容	手段(主な活動)	分娩の前日までに受診した健康診査分について費用の助成をする 助成方法:償還払い						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
①	県外分の妊婦一般健康診査助成申請数	件	-	40	40	100.0
②						
③						

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	千円	(金額)	千円	(金額)	725 千円	
	(件数)	件	(件数)	件	(件数)	40 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	○ 定額補助	富山県内の医療機関との契約金額とし、委託金額に満たないときは、少ない方の金額とする。				16,460円、5,300円 千円	
定率補助	※上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	妊娠出産に関する安全性を確保するために、継続的に妊婦健診を受け不安感の解消・軽減のための社会的支援が求められており、重要な事業であり、県内全市町村が実施している。
有効性	4	県外に里帰り中の妊娠期間に健康診査を実施することで、より安心して出産できる環境づくりに大いに貢献している。
効率性	4	経済的負担の軽減を図り、健康診査を受診できる機会を確保することは、公共関与して妥当である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	安全な出産を促し、母子の障害の発生を予防するため、妊婦の健康管理として、継続的に実施していく。

事業 080	事務事業名	新生児訪問指導事業				担当部署	部名	福祉保健部	
		(母子保健推進費)					課名	健康推進課	
						電話	82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	市内在住または里帰り等で市内に滞在している生後28日未満の新生児						
	意図 (どのような状態に)	新生児の異常及び疾病の早期発見を目的とする。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	市民から送られてくる出生連絡票を基に、市から委託した保健師、助産師が生後28日未満の新生児に訪問指導を行う。 新生児の身体計測、や保育状況を観察するとともに産婦・保育者の育児相談等に対応する。						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	出生数	人	809	800	800	100.0	800	800	
	訪問指導依頼件数	件	394	400	387	96.8	400	400	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	子育てが楽しいと答えた人の割合(3ヶ月健診でのアンケート調査結果)	%	98.7	99	98.9	99.9	99

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	1,167 千円	1,262 千円	8.1	1,343 千円
財源内訳	人件費	1,518 千円	1,496 千円	1.4	1,496 千円	
	退職手当引当金相当額	220 千円	220 千円	0.0	220 千円	
	事業コスト計	2,905 千円	2,978 千円	2.5	3,059 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	2,905 千円	2,978 千円	2.5	3,059 千円	
当該事務従事職員数		0.22 人	0.22 人	0.0	0.22 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	子どもの安らかな発達の促進と育児不安の軽減のため育児支援とのひとつとして必要である。
有効性	4	虐待予防をはじめ、産婦や保育者の育児不安等への対応ととして、事業実施は大いに貢献している。
達成度	4	訪問実施率も高く、母親の育児不安への対応や地域の子育て支援との連携が図られる。
効率性	4	保健師、助産師による訪問実施は高く、虐待防止や育児負担の軽減に繋がっている

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	虐待予防や子どものすこやかな成長を促すためにも必要な事業であり、保健師、助産師の確保も含めて継続して実施する。

事業 081	事務事業名	母子健康手帳交付 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法第16条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	市内在住者で妊娠の届出をした者
	意図 (どのような状態に)	市内在住者で妊娠の届出をしたものに対して、母子健康手帳を交付する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	妊娠したものは、すみやかに、市町村長に妊娠の届出をするようにしなければならない義務があり、届出をした者に母子健康手帳を交付する(5保健センターにて交付)

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	母子健康手帳届出数	人	790	800	777	97.1	800	800	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	妊娠11週未満の届出率	%	48.5	60	79.2	132.0	80

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	283 千円	222 千円	21.6	146 千円
	人件費	138 千円	136 千円	1.4	136 千円	
	退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円	
	事業コスト計	441 千円	378 千円	14.3	302 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	441 千円	378 千円	14.3	302 千円	
	当該事務従事職員数	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	妊産婦や乳幼児を行政が的確に把握し、これによって必要な保健指導や健康診査を行い母子保健の正しい知識を周知徹底させるために必要である。
有効性	4	母子健康手帳は、出産及び育児に関する一貫した健康記録であるとともに、乳幼児の保護者に対する育児書として重要である。
達成度	4	妊娠11週以内の早期妊娠届出は年々増加している。
効率性	4	市独自で母子健康手帳を作成すると高価となり、市販のもので対応している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	妊婦自らの母性としての自覚を高め周囲の理解を早く得るために、早期の届出は大切なことであり、今後とも早期届出についての啓発をしていく。

事業No.	事務事業名		母親教室 (母子保健推進費)			担当部署	部名	福祉保健部	
082							課名	健康推進課	
							電話	82-1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	市内に在住する妊婦						
	意図(どのような状態に)	妊婦に対して、妊娠・分娩・産褥の各期を通して母体の健康維持と新生児の保育について、正しい知識を習得させることを目的とする。						
事業内容	手段(どのような方法で)	1クール2日年12回開催(3保健センター) 講義と実技指導(産婦人科医師、助産師、保健師、栄養士、歯科衛生士による) 母子保健関係諸制度の紹介 個別相談						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
①	教室参加数(延人数)	人	140	150	131	87.3	150	180	
②									
③									

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
①	子育てが楽しいと答える人の割合(3か月児健康診査)	%	98.7	99	98.9	99.9	99
②							
③							

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	275 千円	211 千円	▲ 23.3	308 千円
	人件費	690 千円	680 千円	▲ 1.4	680 千円	
	退職手当引当金相当額	100 千円	100 千円	0.0	100 千円	
	事業コスト計	1,065 千円	991 千円	▲ 6.9	1,088 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,065 千円	991 千円	▲ 6.9	1,088 千円	
	当該事務従事職員数	0.10 人	0.10 人	0.0	0.10 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	妊婦の妊娠に関する自覚をさらに促し、健康の保持・増進に繋がる生活態度や生活習慣づくりができるよう動機付けをすることは重要である。
有効性	4	核家族や少子化の社会の流れの中で、出産や子育てを身近に経験する機会が少ない妊婦が増えてきており必要な事業である。
達成度	3	講義だけでなく、実習、情報交換、意見交換等グループワークを取り入れ仲間づくりに努めており、参加者にとっては身近な内容であり好評を得ている。
効率性	4	妊婦が地域に生活していることを考慮し、地域に住む医師や助産師等の協力を得ている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	妊婦自身が積極的に教室に参加して自分自身の健康上の問題に気づき、行動変容がなされることが重要であり、対象者の生活状況、社会背景等を包括的に把握し指導に生かしていく。

事業	事務事業名	パパの育児教室 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
083							課名	健康推進課	
							電話	82 - 1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	次世代育成計画		

事業目的	対象(誰を・何を)	妊婦とその夫と乳児のいる夫婦						
	意図(どのような状態に)	妊産婦の日常生活や育児についての正しい知識を普及し、子育てのパートナーとして、あるいはサポートする人としての家族の協力の重要性を認識させる。						
事業内容	手段(どのような方法で)	もうすぐパパママ教室:体験型教室(3保健センター)年10回 (講義)新生児、乳児の特性について(実技)沐浴指導、パパの妊婦体験 栄養講義・調理実習 交流会 新米パパママ教室 メンタルヘルスの講義 親子ふれあい体操						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	もうすぐパパママ教室参加状況	人	219	220	220	100.0	230	300	
	新米パパママ教室参加状況	人	208	220	199	90.5	230	300	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	父親の育児参加率	%	89.5	90	90.4	100.4	91

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	324 千円	389 千円	20.1	307 千円
	人件費	1,380 千円	1,360 千円	1.4	1,360 千円	
	退職手当引当金相当額	200 千円	200 千円	0.0	200 千円	
	事業コスト計	1,904 千円	1,949 千円	2.4	1,867 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,904 千円	1,949 千円	2.4	1,867 千円	
	当該事務従事職員数	0.20 人	0.20 人	0.0	0.20 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	妊娠期間や乳児期は母性、父性をはぐむ貴重な時期であり、妊娠や出産をきっかけに夫とともに日常生活を振り返り、よりよい生活が送れるよう支援するために重要である
有効性	4	家事経験も非常に少ないまま結婚して、親になる夫婦が増えてきており、妊娠や出産、育児に対する情報を提供し母親と父親になる日を思い巡らしたり、育児の夢が広がるよう支援をするためには大変効果的である。
達成度	4	教室終了後のアンケート調査結果より、大半の参加者より「参加してよかった」との回答を得ている。
効率性	4	多くの方の参加が得られるよう、土日の休日に開催している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	価値観の多様化により、対象者のニーズに合わせた内容の教室に努めていく。

事業 084	事務事業名	育児相談・母乳相談 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	乳幼児とその保育者、授乳中の母親						
	意図 (どのような状態に)	乳幼児の発達発育の確認や日常生活指導と母乳育児状況の確認と助言						
事業内容	手段 (どのような方法で)	育児相談:びよびよ相談 各保健センター年6回づつ延30回 母乳相談:びよびよ相談日、3ヶ月健診日に同日実施 年66回 スタッフ:保健師、栄養士、助産師、看護師、母子保健推進員 ここにこ相談各保健センター年6回づつ延30回						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	育児相談参加数	人	1805	1500	1492	99.5	1500	1800	
	母乳相談参加数	人	245	280	275	98.2	300	330	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	母乳育児の割合(3か月児)	%	83.8	85	86.7	102.0	87
	子育てを楽しいと答える人の割合(1歳6か月児)	%	97.6	98	97.8	99.8	98

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	1,626 千円	1,047 千円	35.6	1,457 千円
財源内訳	人件費	7,728 千円	7,616 千円	1.4	6,664 千円	
	退職手当引当金相当額	1,120 千円	1,120 千円	0.0	980 千円	
	事業コスト計	10,474 千円	9,783 千円	6.6	9,101 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	10,474 千円	9,783 千円	6.6	9,101 千円	
当該事務従事職員数		1.12 人	1.12 人	0.0	0.98 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	核家族化が進み、地域での育児をしている母親同士のつながりが希薄化している中で、育児不安を抱えている保育者が増えてきており、育児不安の軽減と具体的な解決のために必要である。
有効性	4	育児への不安の軽減や心配事の解決とともに、参加者同士の情報交換と仲間づくり、交流の場となっている。
達成度	3	参加者のニーズに対応できるよう、離乳食実施、おやつ指導、絵本の読み聞かせ等内容の充実に努めており、多数の参加を得ている。
効率性	4	地域の身近なところで開催し、参加しやすい体制にしている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	参加者の来所目的が多様であり、それぞれの目的に従ったうえで、より健康な日常生活が過ごせるよう支援していく。

事業 085	事務事業名	要観察児教室 (母子保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	各種乳幼児健診、家庭訪問、育児相談等で、心身の発達の遅れが心配な乳幼児とその保護者						
	意図 (どのような状態に)	心身の発達等について心配のある乳幼児に対し、相談や遊びを通して身体の発達、知的活動、情緒の安定、社会生活における調和的発達を促し、すこやかな成長を支援する。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	のびのび相談(心理相談)12回 認定心理相談員、保健師 (言葉の相談)12回 スタッフ:言語療法士、保健師 わくわく広場(療育相談)1会場年10回 スタッフ:作業療法士、保健師、栄養士、保育士 処遇検討会 15回 スタッフ:療育施設の保育士 保健師						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
				要観察児相談実施回数	回	37		40	36
要観察児相談参加数	人	167	170	147	86.5	170	200		

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
				要観察、要精密検査対象児数(1歳6か月児)	人	185	
要観察、要精密検査対象児数(3歳6か月児)	人	208	200	180	90.0	200	

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費		460千円	351千円	23.7	290千円
	人件費		3,933千円	3,876千円	1.4	3,876千円
	退職手当引当金相当額		570千円	570千円	0.0	570千円
	事業コスト計		4,963千円	4,797千円	3.3	4,736千円
	財源内訳		千円	千円		千円
	その他		千円	千円		千円
	一般財源		4,963千円	4,797千円	3.3	4,736千円
当該事務従事職員数			0.57人	0.57人	0.0	0.57人

評価項目	点数	説明
必要性	4	乳幼児の心身の健やかな成長を支援することにより、保護者自身の育児や就園、就学等についての悩みや不安の軽減や虐待予防にも繋がっている。
有効性	4	専門職種がスタッフに加わることで効果的な支援が継続的になされている。
達成度	3	関係機関との連携により、早期発見早期支援に繋がっている。
効率性	4	発達障害の疑いのある児に対して適切な支援をするため、関係機関による意見交換や事例検討を実施している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	乳幼児期から将来を見越した切れ目のない育児支援ができるように努めていく

事業 086	事務事業名	母子保健推進員活動				担当部署	部名	福祉保健部	
		(母子保健推進費)					課名	健康推進課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	電話	82 - 1954
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						款	衛生費
	施策名(節)	第 1 節 子育て支援の推進						項目	保健衛生費 母子尾衛生費
事業開始・終了年度		平成 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等		母子保健法							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	妊産婦・乳幼児							
	意図 (どのような状態に)	妊婦や乳幼児を持つ育児中の母親が各種保健サービスや子育て支援サービスについて知り、必要なサービスについて知り、必要なときに利用することができることで育児不安が解消できる。							
事業内容	手段 (どのような方法で)	市長から委嘱された母子保健推進員が地域の妊婦や2~3か月児の家庭訪問を行い、保健サービス・子育て支援サービスの紹介や育児不安などの把握に努め、市とのパイプ役として育児支援を行う。 妊婦訪問、乳児訪問、びびよ教室での絵本の読み聞かせ、新米パパママ教室への協力、自主活動、研修会の企画、参加							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	訪問件数	件	1360	1640	1347	82.1	1640	1640	
	母子保健推進員研修会参加数	人	143	150	127	84.7	150	300	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	夫以外に育児の協力、相談者がいる人の割合	%	96.4	97	96	99.0	97
	3か月児健康診査受診率	率	99	99.5	99.1	99.6	99.5
	母子保健推進員数	人	100	99	99	100.0	100

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	891 千円	874 千円	1.9	855 千円
財源内訳	人件費	1,518 千円	1,496 千円	1.4	1,496 千円	
	退職手当引当金相当額	220 千円	220 千円	0.0	220 千円	
	事業コスト計	2,629 千円	2,590 千円	1.5	2,571 千円	
	国県支出金	90 千円	90 千円	0.0	90 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	2,539 千円	2,500 千円	1.5	2,481 千円	
当該事務従事職員数		0.22 人	0.22 人	0.0	0.22 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	地域の身近なところで、子育て中の母親のよき相談者として活動を行っており、地域ぐるみの子育て支援の役割を担っている。
有効性	4	核家族化や育児経験不足等から、育児不安の強い母親やうつ状態の母親の早期支援に繋がっている。
達成度	3	子育て中の母親やその家族から健診や各種サービスに関する質問が多い。絵本の読み聞かせや自主活動においても参加者から好評を得ている。
効率性	4	育児不安から来る虐待防止や産後のうつの予防、早期発見のため、国では「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を創設し、市ではこの事業の中で実施している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	研修等を企画し、母子保健推進員の資質向上に努める。

事業	ブックハート事業				担当部署	部名	福祉保健部		
087	事務事業名 (母子保健推進費)					課名	健康推進課		
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第1節 子育て支援の推進						目	母子保健衛生費
事業開始・終了年度	平成 19 年度			~	平成 年度				
根拠法令・要綱等									
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	乳児
	意図 (どのような状態に)	絵本を通して、母と子のコミュニケーションを深め、こころの健やかな成長を育む。
事業内容	手段 (どのような方法で)	絵本パックの配布: 3か月児健康診査会場で絵本及び読み聞かせパンフレット、絵本紹介パンフレットを配布 育児相談で、配布した絵本を使い、母子保健推進員が読み聞かせを実施する

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	育児相談「読み聞かせ」参加数	人	533	550	579	105.3	600	600	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	子育てが楽しいと答える人の割合	%	97.2	98	98.1	100.1	99

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	1,329 千円	1,307 千円	1.7	1,134 千円
	人件費	276 千円	204 千円	26.1	204 千円	
	退職手当引当金相当額	40 千円	30 千円	25.0	30 千円	
	事業コスト計	1,645 千円	1,541 千円	6.3	1,368 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,645 千円	1,541 千円	6.3	1,368 千円	
	当該事務従事職員数	0.04 人	0.04 人	0.0	0.04 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	乳児期からのことばとこころを育み、保護者も楽しい子育ての時間がもてるよう、絵本を渡すとともに読み聞かせの機会を提供する
有効性	4	母子保健推進員が、配布した絵本を使った読み聞かせをすることで、絵本に自然に親しみを持てる。
達成度	4	核家族化とともに母親の孤立化が問題となっている中で、絵本を通して、母と子のかかわりが深まる。
効率性	4	育児不安を抱える保護者に対して、絵本を使うことで自然に子どもとコミュニケーションが図れる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	大島絵本館、母子保健推進員の連携により、より事業を効果的に運営できる

事業 088	事務事業名	健康手帳交付				担当部署	部名	福祉保健部	
		(成人・老人保健推進費)					課名	健康推進課	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		増進健康法第17条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	35歳以上の市民で各種健康診査、健康相談、健康教育、訪問指導を受けた者						
	意図 (どのような状態に)	健康診査の記録、その他の健康の保持増進のため必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療の確保に資する。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	健康診査、健康教育、健康相談時に交付 健康診査受託指定医療機関での交付						

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	健康手帳交付人数(35歳から39歳)	人	144	190	185	97.4	200	200	
	健康手帳交付人数(40歳から74歳)	人	1,665	1800	1,758	97.7	1800	1800	
	健康手帳交付人数(75歳以上)	人	308	300	297	99.0	300	300	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	集団検診会場での交付	箇所	244	246	248	100.8	253
	医療機関検診受託医療機関での交付	箇所	42	38	38	100.0	39

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	359 千円	260 千円	27.6	270 千円
財源内訳	人件費	207 千円	204 千円	1.4	204 千円	
	退職手当引当金相当額	30 千円	30 千円	0.0	30 千円	
	事業コスト計	596 千円	494 千円	17.1	504 千円	
	国県支出金	131 千円	137 千円	4.6	173 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	465 千円	357 千円	23.2	331 千円	
当該事務従事職員数		0.03 人	0.03 人	0.0	0.03 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	市民自らの健康管理と適切な医療の確保をするためにも必要である。
有効性	4	自分の健康は自分で守るためにも有効である。
達成度	4	35歳から健康手帳を交付し、若い年代から自分の健康に関心を持ち、健康管理の必要性について啓発し、生活習慣病の予防に努めている。
効率性	4	機会あるごとに健康手帳を交付している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	健康手帳の有効な活用方法について説明し、自らの健康の保持増進に努めてもらう。

事業 089	事務事業名	健康教育				担当部署	部名	福祉保健部	
		(成人・老人保健推進費)					課名	健康推進課	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		健康増進法第3条、第4条、							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	35歳以上の市民
	意図 (どのような状態に)	健康に関する知識や情報を提供することにより、「健康寿命の延伸」「早世の死亡の減少」を図り、みんなが明るく元気な生活ができるよう支援する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	一般健康教育:一般住民を対象とした講演会等 病態別健康教育:要指導者を対象とした健康教室や講演会

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	一般健康教育参加人数	人	5674	5700	5634	98.8	5800	6000	
	病態別健康教育参加人数	人	539	800	1083	135.4	1000	1000	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	一般健康教育回数	回	252	250	194	77.6	250
	病態別健康教育回数	回	20	25	29	116.0	30

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	774 千円	799 千円	3.2	805 千円
財源内訳	人件費	5,175 千円	5,100 千円	1.4	5,100 千円	
	退職手当引当金相当額	750 千円	750 千円	0.0	750 千円	
	事業コスト計	6,699 千円	6,649 千円	0.7	6,655 千円	
	国県支出金	510 千円	504 千円	1.2	504 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	6,189 千円	6,145 千円	0.7	6,151 千円	
当該事務従事職員数		0.75 人	0.75 人	0.0	0.75 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	生活習慣病の発生を予防す「一次予防」に重点を置いた対策を推進するためには、健康に対する価値観が多様化している実情に即した健康教育が必要である。
有効性	4	市民の健康への関心は特定健診・特定保健指導の導入により関心は高まってきており、健康増進や疾病の予防、介護予防に繋がっている。
達成度	3	多くの機会を捉えて、市民に生活習慣病の予防や介護予防の普及啓発や生活習慣への行動変容の意識付けができた。
効率性	4	生活習慣病対策にメタボリックシンドロームの概念を導入し広く市民に啓発普及した。又、特定保健指導対象外の人で生活習慣改善必要者を対象とした教室も開催した。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	健康教育の内容のみに努めるとともに充実や、生活習慣病対策の対策を検討し実践していく。

事業 090	事務事業名 健康相談 (成人・老人保健推進費)	担当部署	部名 福祉保健部		
			課名 健康推進課		
			電話 82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち	予算科目 会計 一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり		項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進		目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成 年度 ~ 平成 年度			
根拠法令・要綱等		健康増進法第3条、第4条、第17条			
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3 頁	個別計画

事業目的	対象 (誰を・何を)	35歳以上の市民
	意図 (どのような状態に)	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導および助言を行うことにより、相談者自身が健康により生活習慣を理解し、健康な生活ができることをめざす。
事業内容	手段 (どのような方法で)	総合健康相談:保健センター窓口や電話相談、各地区公民館での一般相談会等 病態別健康相談:要指導者を対象とした個別相談

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	総合健康相談参加数(延)	人	3792	3800	2407	63.3	3800	4000	
	病態別健康相談参加数(延)	人	304	310	311	100.3	320	350	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	総合健康相談実施回数	回	763	780	853	109.4	850
	病態別健康相談実施回数	回	46	42	42	100.0	42

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	312 千円	365 千円	17.0	290 千円
財源内訳	人件費	7,383 千円	7,276 千円	1.4	7,276 千円	
	退職手当引当金相当額	1,070 千円	1,070 千円	0.0	1,070 千円	
	事業コスト計	8,765 千円	8,711 千円	0.6	8,636 千円	
	国県支出金	207 千円	170 千円	17.9	170 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	8,558 千円	8,541 千円	0.2	8,466 千円	
当該事務従事職員数		1.07 人	1.07 人	0.0	1.07 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	健康に関する多くの情報の中から、個人に適した情報の選択をするための相談が必要である。
有効性	4	身近に健康の相談ができる場があることは、市民のメタボリックシンドロームをはじめとした病気や、介護予防、健康増進に寄与していると考え
達成度	4	市民が参加しやすい身近な相談場所として、保健センター、地区公民館、自治会公民館で開催し、成果は上がっている。
効率性	4	地区に根付いている事業との同日実施により、参加者の増をはかっている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	地区の事業に合わせた開催や、健康診査後の事後指導の場として実施し、行動変容が伴う効果的な援助方法を検討し、実践する。

事業 091	事務事業名	健康診査				担当部署	部名	福祉保健部	
		(成人・老人保健推進費)					課名	健康推進課	
						電話	82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		健康増進法第19条2							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	40歳以上の生活保護受給者等と35歳から39歳の方で健康診査を受ける機会のない方の一般健康診査・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診・歯周疾患検診						
	意図(どのような状態に)	生活習慣病の早期発見に努め、生活習慣の改善に結びつけ、「自分の健康は自分で守る」という意識を高めている。						
事業内容	手段(どのような方法で)	医療機関委託：一般健康診査・肝炎ウイルス検診・歯周疾患検診 集団検診：骨粗しょう症検診						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	一般健康診査(生保検診)受診率	%	17	21.5	20.4	94.9	26.3	30	
	肝炎ウイルス検診受診率(40歳節目)	%	23.9	24.2	22.5	93.0	25	25	
	歯周疾患検診受診率	%	10.7	11.6	12.2	105.2	12.5	15	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	一般健康診査(生保検診)受診数	人	14	20	19	95.0	25
	肝炎ウイルス検診受診数(40歳節目)	人	128	130	121	93.1	150
	歯周疾患検診受診数	人	556	600	625	104.2	650

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	15,160 千円	15,225 千円	0.4	14,700 千円
財源内訳	人件費	897 千円	884 千円	1.4	884 千円	
	退職手当引当金相当額	130 千円	130 千円	0.0	130 千円	
	事業コスト計	16,187 千円	16,239 千円	0.3	15,714 千円	
	国県支出金	4,365 千円	4,680 千円	7.2	5,064 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	11,822 千円	11,559 千円	2.2	10,650 千円	
当該事務従事職員数		0.13 人	0.13 人	0.0	0.13 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	国の指針に基づき実施
有効性	4	市民が自分の健康状態を把握し、問題があれば早期に対応することができるようになる。
達成度	3	生活習慣病の危険因子を発見し、生活習慣の見直しや介護予防の視点から生活機能低下の予防に関する事業を実施することより、市民全体の健康づくりに繋がる。
効率性	4	各種健康診査の実施体制や精度管理について検討し受診率向上を目指している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	今後とも生活習慣病の予防が大切であり、実施方法等を検討しながら事業を継続していく

事業	事務事業名	訪問指導 (成人・老人保健推進費)				担当部署	部名	福祉保健部	
092							課名	健康推進課	
							電話	82 - 1954	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度	平成		年度	~	平成	年度			
根拠法令・要綱等	健康増進法第17条								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	35歳以上の市民で過程において健康管理や日常生活の助言の必要が認められた者						
	意図 (どのような状態に)	健康診査結果より望ましい生活が送れるよう助言したり、必要に応じて医療機関への受診勧奨を行い治療に結びつけることで、市民がより一層健康の保持増進を目指せるよう支援していく。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	保健師、栄養士による生活習慣病予防の訪問指導						

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	要指導者訪問指導延人数	人	37	40	47	117.5	70	70	
	高齢者訪問指導延人数	人	15	30	3	10.0	30	30	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	要指導者訪問指導実人数	人	27	30	25	83.3	50
	高齢者訪問指導実人数	人	15	20	3	15.0	30

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	227 千円	228 千円	0.4	164 千円
	人件費	690 千円	680 千円	1.4	680 千円	
	退職手当引当金相当額	100 千円	100 千円	0.0	100 千円	
	事業コスト計	1,017 千円	1,008 千円	0.9	944 千円	
財源内訳	国県支出金	34 千円	34 千円	0.0	34 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	983 千円	974 千円	0.9	910 千円	
	当該事務従事職員数	0.10 人	0.10 人	0.0	0.10 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	対象者の日常生活の改善により疾病の重症化防止には繋がる。
有効性	4	健康の保持増進のための適切な生活習慣を理解し、実行することで疾病の予防や重症化を防ぐことができる。
達成度	2	健康に対する意識があっても適切に実行できない状況にある。
効率性	4	健診の結果、ハイリスク者に実施し効率化を図っている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	身体面だけでなく精神面の支援が必要なものが増加傾向にあり一層強化していく。

事業 093	事務事業名	がん対策推進				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82-1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	成人老人保健対策費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度	年度	
根拠法令・要綱等		健康増進法第19条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画	射水市健康増進プラン		

事業目的	対象 (誰を・何を)	市民で、職場等でがん検診を受ける機会のない方。						
	意図 (どのような状態に)	がんやその他の疾病の早期発見、早期治療を図り、がん死亡の減少を目指す。						
事業内容	手段 (どのような方法で)	胃：集団検診・医療機関検診(市内指定医療機関) 大腸：集団検診・医療機関検診(市内指定医療機関) 肺：集団検診・医療機関検診(市内指定医療機関) 子宮：集団検診・医療機関検診(富山大学附属病院・県立中央病院を除く県内産婦人科病・医院) 乳房：集団検診・医療機関検診(射水市民病院)						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H31年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	がん検診受診率(胃)	%	25.5	27	24	88.9	28	50%	
	がん検診受診率(子宮)	%	29.8	30	32.7	109.0	35	50%	
	がん検診受診率(乳房)	%	30	30	34	113.3	35	50%	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	集団検診実施回数(胃・肺・子宮・乳房)	回	244	246	248	100.8	253
	医療機関検診指定医療機関数	箇所	97	94	94	100.0	90

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費		129,617 千円	138,731 千円	7.0
	人件費		9,660 千円	9,520 千円	1.4	9,520 千円
	退職手当引当金相当額		1,400 千円	1,400 千円	0.0	1,400 千円
	事業コスト計		140,677 千円	149,651 千円	6.4	121,438 千円
財源内訳	国県支出金		2,810 千円	15,761 千円	460.9	8,900 千円
	その他		8,402 千円	8,799 千円	4.7	8,280 千円
	一般財源		129,465 千円	125,091 千円	3.4	104,258 千円
	当該事務従事職員数		1.40 人	1.40 人	0.0	1.40 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	国の指針に基づき実施
有効性	4	がんの早期発見、早期治療に有効である。
達成度	4	検診受診率は増加傾向にあり、より一層受診率向上に繋がるPR等意識の啓発普及が必要である。
効率性	4	市民の受診に対する利便性を考慮して、集団検診、医療機関検診の2体制で実施している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	今後もがん検診受診率50%を目指し、PR等の検討を行い継続実施していく。

事業	予防接種事業				担当部署	部名	福祉保健部		
094	事務事業名					課名	健康推進課		
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	予防費
事業開始・終了年度		平成		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等		予防接種法第3条							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	本市に在住する政令で定める者
	意図 (どのような状態に)	本市に在住する政令で定める者で接種希望者全員
事業内容	手段 (どのような方法で)	集団接種(BCG・ポリオ)保健センター等で実施 個別接種(DPT・MR・日本脳炎・インフルエンザ)射水市医師会指定医療機関に委託 予防接種歴の磁気保存、管理 健康被害が生じたときには、救済措置のための事務

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	高齢者インフルエンザ予防接種率	%	68.1	68	61.8	90.9	68	80	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	予防接種健康被害報告数	件	0	0	0	100.0	0

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費		111,261 千円	13,086 千円	88.2
	人件費		3,450 千円	3,400 千円	1.4	3,400 千円
	退職手当引当金相当額		500 千円	500 千円	0.0	500 千円
	事業コスト計		115,211 千円	16,986 千円	85.3	98,810 千円
財源内訳	国県支出金		千円	1,659 千円	皆増	千円
	その他		千円	千円		千円
	一般財源		115,211 千円	15,327 千円	86.7	98,810 千円
	当該事務従事職員数		0.50 人	0.50 人	0.0	0.50 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	乳幼児における感染症の発生を防ぎ、又、蔓延防止のために必要である。
有効性	4	定期予防接種の実施により患者発生及び蔓延事情は減少しており、公衆衛生の向上及び増進に寄与している。
達成度	4	接種率は向上している。
効率性	4	未接種への接種勧奨及び被接種の利便性の方向性の向上に努めている。22年6月からは個別接種の広域化を開始する。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	予防接種法に基づく事業であり、継続的に実施及び予防接種率の向上を一層図る必要がある。

事業 095	事務事業名	結核予防事業				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	健康推進課	
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	予防費
事業開始・終了年度		平成		年度	~	平成	年度		
根拠法令・要綱等		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第53条の2第2項							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	65歳以上の市民のうち、職場等で結核検診を受ける機会のない者						
	意図 (どのような状態に)	結核の早期発見、精密検査の受診や早期治療を促し、結核の蔓延を予防する。結核の予防啓発						
事業内容	手段 (どのような方法で)	胸部エックス線検査(結核肺検診として実施): 集団検診・医療機関検診(市内指定医療機関)						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	結核検診受診率	%	41.6	41.3	39.9	96.6	42	50	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	集団検診実施会場	回	85	82	82	100.0	81
	医療機関検診指定医療機関	箇所	27	27	27	100.0	27

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	2,369 千円	2,361 千円	0.3	2,165 千円
	人件費	2,553 千円	2,516 千円	1.4	2,516 千円	
	退職手当引当金相当額	370 千円	370 千円	0.0	370 千円	
	事業コスト計	5,292 千円	5,247 千円	0.9	5,051 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	5,292 千円	5,247 千円	0.9	5,051 千円	
	当該事務従事職員数	0.37 人	0.37 人	0.0	0.37 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	国の実施要領に基づき実施
有効性	4	市民の健康意識の向上を図るとともに、健康管理を目的として、事業実施は有効である。
達成度	4	受診率については、横ばい状況である。
効率性	4	医療機関での実施や実施期間の延長により、受診率の向上を目指している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	受診率の維持向上に努め、結核を早期発見することにより感染を予防する。

事業	感染症予防事業				担当部署	部名	福祉保健部		
096	事務事業名					課名	健康推進課		
						電話	82 - 1954		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	衛生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	保健衛生費
	施策名(節)	第2節 明るく元気な健康づくりの推進						目	予防費
事業開始・終了年度	平成		年度	~	平成	年度			
根拠法令・要綱等	感染症予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	全市民
	意図 (どのような状態に)	感染症の蔓延を防止する
事業内容	手段 (どのような方法で)	感染症に関わる啓発、施設内感染防止のための啓発、防疫活動、関係機関連携体制の強化

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	感染症発生届数	人	0	0	0	100.0	0	0	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	感染症発生届数	人	0	0	0	100.0	0

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	0千円	3,993千円	皆増	2,015千円
財源内訳		人件費	千円	2,244千円	皆増	千円
		退職手当引当金相当額	千円	330千円	皆増	千円
		事業コスト計	千円	6,567千円	皆増	2,015千円
		国県支出金	千円	998千円	皆増	千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	千円	5,569千円	皆増	2,015千円
	当該事務従事職員数	0.00人	0.33人	皆増	人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	海外旅行の増加など感染源、感染経路の多様化など、今後感染症の発生、特に集団発生より単発に発生する事例が多くなると言われている。単発例に対しても、蔓延しないよう予防が必要と思われる。
有効性	4	感染症の発生を予防し、その蔓延の防止を図り、公衆衛生の向上に貢献している。
達成度	4	感染症の予防及び医療機関との連携が図れた。
効率性	4	感染症の蔓延防止に寄与できた。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	市民、学校及び福祉施設などに対する感染症の正しい知識の啓発による発生予防及び蔓延防止並びに医療機関との連携による発生時対応等健康被害を最小限に止めることは極めて重要である。